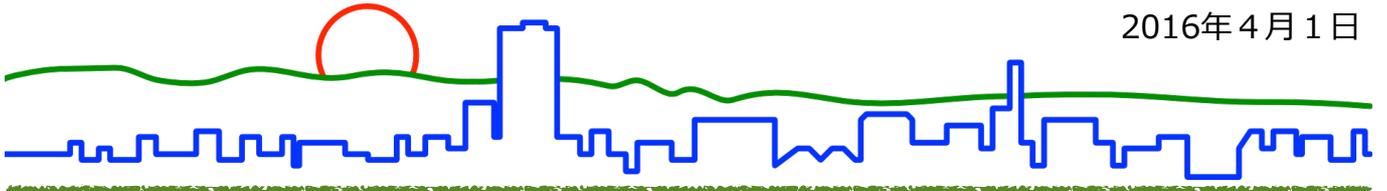


2016年4月1日



新年度と組織と私

はちおうじ総務相談所の長岡です。新年度を迎え、人の入れ替わりや新企画の立ち上げなどで、忙しく過ごされている方も多いのではないのでしょうか。

おかげさまで、私の事務所も4月で開業5周年となります。社労士登録からも半年が経過しました。そこで、そろそろ新しいサービスなども……と考えていたのですが、ここに来て周辺の状況が大きく変わりつつあります。

昨年の10月から関わっている震災復興関連の「副業」について、当初は昨年度一杯の予定だったものが、4月以降も続くことになりました。しかも、今後は具体的な事業者支援が必要となるため、私の役割もより専門的なものとなりそうです。そのため、副業ではなく本業、というより、この1年はこちらが中心的な業務になることと思われま



檜原村人里バス停の桜と10年前の愛車

かなり大がかりなプロジェクトを周囲の人たちと協力しながら進めていくことになるので、専門性に磨きをかけつつ、組織論的なことについても、実践を通して学んでいけるのではないのでしょうか。この1年を乗り越えられれば、中小企業の支援者として大きく成長できるのではないかと期待しております。

しかし、この事業に関わることになって、ひさびさに組織の一員として行動しているわけですが、一人で判断して一人で動いている普段の生活がいかに気楽であるのか、そして、いかに危険であるのかを強く感じている今日この頃です。やはり、いろいろ指摘してくれる人の存在はとても重要ですね。これは、企業の経営者にも同じことがいえるのではないのでしょうか。

ちなみに、自分の事務所も引き続き運営していきますので、「成長中の長岡でも構わないので経営について意見を聞きたい」という方は、ぜひぜひお声がけくださいませ。

今月の予定 (2016年4月)

13日 (水) ものづくり補助金 申請締切 (当日消印有効)

今月の推薦図書 vol.7

『人はチームで磨かれる』
齋藤孝 著 2013年 日本経済新聞出版社

目標に向かって協力して進んでいる組織が強いのは当然のように感じますが、そのへんがうまくいかない会社もめずらしくはないそうです。目標を決めても従業員がその気になってくれないことには始まらないわけで、その点に悩んでいる経営者も少なくはないのでしょうか。

この本には職場を活性化するためのヒントが集められていて、副題は「職場を元気にする72の質問」となっています。学校とサッカーの話題が多いのは、著者の職業と趣味が影響しているからではないでしょうか。

いわれてみると、小学生のころは失敗して恥をかくことへの恐怖心が弱かったせいも、周囲にも積極的に行動している子が多かった気がします。もちろん、失敗を歓迎するわけではないのですが、それをみんなで乗り越えられれば、結束力の強化につながるのには理解できます。

そう考えると、職場に当時のような雰囲気を作り出すことによって、組織全体に勢いが生まれてくるのかもしれませんが。まあ、私のように一人で仕事をしている人間には失敗を共有する仲間もいないので、ミスを恐れる日々を送っているのが実情ではあるのですが……。

今月の推薦映画 vol.7

『ガーディアンズ・オブ・ギャラクシー』
ジェームズ・ガン 監督 2014年

題名を直訳すると、「銀河の守護者たち」みたいな感じになるのでしょうか。実際にそういう話でもあるのですが、メンバーは社会からはみ出したゴロツキばかりです。なにしろ、最初は刑務所から脱獄するために手を組むのですから。

しかし、銀河を滅ぼしかねないほどの悪を前にして、ゴロツキの集まりは変わっていきます。巨大な力に敗れて身も心も打ちのめされ、それまでの姿勢が中途半端だったことを痛感して、弱い自分を受け入れて決意も新たに立ち上がるわけです。

痛みを共有したチームは結束力を強め、最終決戦ではそれぞれが与えられた役割を命がけで遂行し、絶体絶命の状況を乗り越えていきます。どん底を味わい、そこからは上がったチームだからこそ、最後まで諦めずに行動できたのではないのでしょうか。

武器を持つアライグマのイメージが強く、子ども向けの映画だと誤解されがちですが、音楽も渋くて大人でも楽しめる作品だと思います。とくに従業員がまとまらなくて悩んでいる経営者には、明確な目標を共有して組織が変わっていく姿をぜひ見てもらいたいものです。

編集後記

新年度ということで、今回のテーマは「組織の力」にしてみました。決算期に関係なく、4月1日から新しいことを始める事業者さんは多いことと思われます。新体制のスタートに向けて、経営者のみなさんに役立つ情報を……書ければよかったのですが……。でも。

それはともかく、1面にも書いたように、今年は組織の人間として動くことも多くなりそうなのですが、この事務所通信はこれまでどおり月に1本のペースで発行していく予定ですので、今後ともよろしく願いいたします。